

報道関係者各位

平成 27 年 1 月 25 日

## 2015 年度 GAP シンポジウム

### 『オリンピックのための食材調達をいかに実現するか』

オリンピック・パラリンピックで求められる持続可能な農畜水産食材の調達と国際規格  
開催のご案内

#### 開催趣旨

開催が 4 年後に迫る東京オリンピック・パラリンピックで世界中から集まる選手や観客に対する「おもてなし」の心とともに、選手村や会場で使用される農畜水産食材について、生産や取扱管理における国際標準の導入が議論され、どのように食材を調達するのかが大きな課題になっています。

そこで、2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、農畜水産業における環境負荷を最小限に抑える持続可能性マネジメントの仕組みと実践例を創るとともに、その持続可能なサプライチェーン全体を大会のレガシーとして国内の業界に広く普及し、日本が持続可能な社会に大きく近づく変革の契機としていくことが必要です。

ところが一部の報道では、生産や取引管理に国際規格が導入されると、国産農畜水産食材が取り扱われない懸念があるとされ、国際規格ではなく日本のおもてなしが重要、という言い方がされています。そこでは、オリンピックの目指す持続可能な発展や環境への配慮が正しく理解されておらず、食品安全規格と心情的配慮が混同されて取り扱われています。

本シンポジウムでは、オリンピック・パラリンピックで求められる持続可能で且つ国産の農畜水産食材の調達を視野に入れつつ、これを実現するために必要な考え方と具体的な方策について異なる分野の異なる視点で考え方を整理し、今後のオリンピック対策の加速化に資するものとします。

#### 開催概要

日 時：2016 年 2 月 9 日(火)10：55～17：30 / 情報交換会 17：30～19：00

2 月 10 日(水)9：20～16：30

会 場：東京大学弥生講堂 一条ホール（東京都文京区弥生 1-1-1）

参加費：主催・共催の会員：¥10,000、一般：¥15,000、学生：¥2,000、情報交換会参加費：¥3,000

展 示：企業等による情報展示（開催期間中）

主 催：一般社団法人日本生産者 GAP 協会

共 催：特定非営利活動法人水産衛生管理システム協会

GLOBALG.A.P.協議会

特定非営利活動法人経済人コー円卓会議日本委員会

H P：<http://fagap.or.jp/seminarsymposium/sym201602/index.html>



社団法人 日本生産者 GAP 協会

〒0035 茨城県つくば市松代 3-4-3-A402

9-861-4900 Fax 029-856-0024 Email：mj@fagap.or.jp

プログラム <詳細と参加お申込みは、ホームページから>

2016年2月9日(火) 『オリンピック食材調達への環境整備と農畜水産業の持続可能性』

特別講演1 我が国における農業生産工程管理(GAP)の取組状況及び推進施策

前田 豊 農林水産省生産局農業環境対策課長

特別講演2 東京大会が目指す「持続可能性」と「フードビジョン」(未定)

基調講演 日本における農畜水産業の持続性評価と期待される取組み

田上隆一 日本生産者 GAP 協会理事長

講演1 2020年東京大会の真の成功と日本の国際競争力の強化

石田 寛 経済人コー円卓会議日本委員会専務理事事務局長

講演2 2012年ロンドン大会農産物調達のベンチマーク基準「レッドトラクター」

山田正美 日本生産者 GAP 協会常務理事

講演3 オリンピック用水産物の HACCP と持続性の MSC と ASC

阿部万寿雄 水産衛生管理システム協会理事

講演4 東京大会の「持続可能性」と「フードビジョン」・「レガシー」

岡田美穂 経済人コー円卓会議日本委員会ディレクター

2016年2月10日(水) 『オリンピックで求められる食材と国際認証の現場的課題』

講演5 GLOBALG.A.P.が目指す農業の持続可能性

今瀧博文 技術士(農業部門) / 日本農産物輸出組合 事務局次長

事例1 水田農業に見る持続性の実践と GLOBALG.A.P.認証の取得

今井 隆 株式会社龍の瞳代表取締役

事例2 GLOBAL G.A.P.認証取得への取組

江口陽子 株式会社鈴与総合研究所(農業生産法人ベルファーム)

事例3 畜産物における持続性の実践と GLOBALG.A.P.認証の取得

真 智代 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター住吉フィールド(牧場)

事例4 持続可能な農業を未来につなぐ“とやま GAP”の推進と指導者の育成

津田 靖 富山県農林水産部農業技術課

事例5 農業者として生き残るための GAP と農業者の育成

安實正嗣 福井県認定農業者ネットワーク会長

講演6 今からでも遅くない東京オリンピックの国産食材の調達戦略

田上隆多 株式会社 AGIC 取締役 GAP 普及部長

全体討議(パネルディスカッション)

「お問合せ先」 一般社団法人 日本生産者 GAP 協会 事務局：田上  
〒305-0035 茨城県つくば市松代 3-4-3 松代ハウス A402  
TEL：029-861-4900 FAX：029-856-0024  
Email：mj@fagap.or.jp URL：http://www.fagap.or.jp/



社団法人 日本生産者 GAP 協会

〒305-0035 茨城県つくば市松代 3-4-3-A402

9-861-4900 Fax 029-856-0024 Email：mj@fagap.or.jp